

# WebSAM iStorageManager Integration Base

Ver 12.1

インストールガイド

# はじめに

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

このインストールガイドでは、WebSAM iStorageManager Integration Base のインストールに関して説明しています。

## 注意

本製品は、Windows に対応しています。

## 備考

1. 本書では、以下のプログラムプロダクトによって実現される機能について説明しています。

- WebSAM iStorageManager Integration Base

2. 本書は以下のプログラムプロダクト・バージョンに対応しています。

- WebSAM iStorageManager Integration Base Ver12.1

3. 本文中の以下の記述は、特に明示しない限り、対応する製品名を意味します。

本文中の記述	対応する製品名
Integration Base	WebSAM iStorageManager Integration Base
iStorageManager	WebSAM iStorageManager
Mシリーズ	iStorage M シリーズ

4. 商標および登録商標


- Microsoft, Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

5. フォルダ名やファイル名は、「JIS X 0208:1990」の文字セットの範囲で指定してください。

6. 本書では、特にご注意いただく内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、設定済みの構成に影響がある場合があります。

表示の種類	
種 類	内 容
	操作において特に注意が必要な内容を説明しています。

# 目 次

<b>第 1 章</b>	<b>Integration Base(Windows 版)</b>	<b>1</b>
1.1	動作環境	1
1.2	インストール	3
1.2.1	Integration Base のインストール	3
1.2.2	Integration Base のアンインストール	4
1.2.3	Integration Base のアップデート	4
1.3	環境設定	5
●付録 A	メッセージ	10
A.1	ログメッセージ	10
A.2	サーバメッセージ	84

# 第1章 Integration Base(Windows 版)

## 1.1 動作環境

表 1-1 動作環境 (Windows 版)

対象ハードウェア	Express5800/100 シリーズ Express5800/1000 シリーズ NX7700i シリーズ
動作OS	Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition (SP 無) (※1) (※2) Microsoft Windows Server 2012 Datacenter Edition (SP 無) (※1) (※2) Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition (※1) (※2) Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter Edition (※1) (※2) Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition (※1) Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Edition (※1) Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition (※1) Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition (※1)  (※1) Hyper-V 機能未搭載の製品もサポートします。 なお、Server Core インストールオプションはサポートしていません。 (※2) Windows 更新プログラム KB2999226 を適用する必要があります。
メモリ	OS 必要メモリ + 50MB (64 ビット版は +200MB) 以上
ディスク容量	30MB (左記ディスク量に採取ログに必要なサイズを見積もる必要があります)

※上記は、本バージョンの製品の初期出荷時点でサポートする動作環境です。最新の情報については、PP・サポートサービス（事前の登録が必要）により、提供しております。

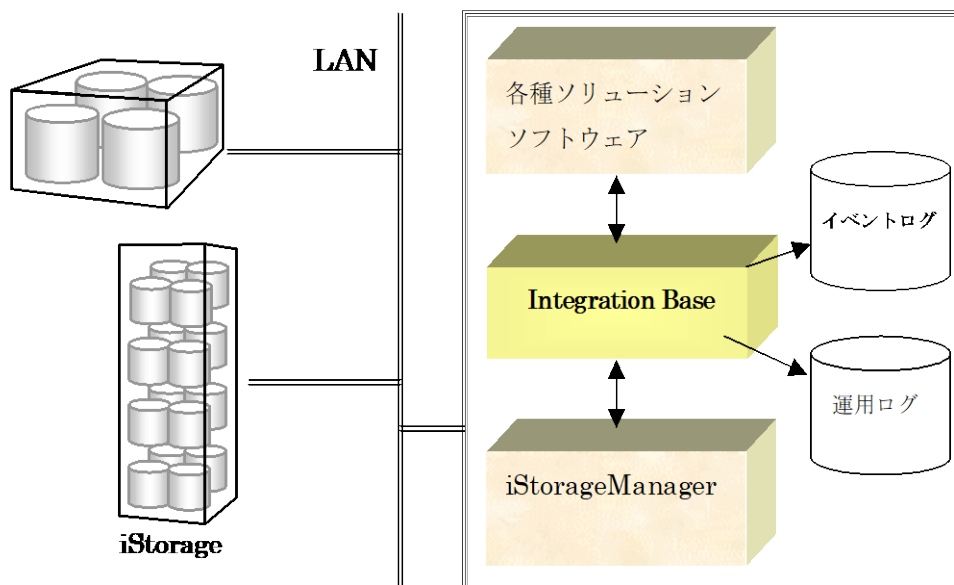


図 1-1 システム構成イメージ (Windows 版)



1. iStorageManager と Integration Base との通信は、TCP/IP 通信を用います。そのため、Integration Base がインストールされている OS のネットワーク環境定義において、iStorageManager 側との TCP/IP 接続環境を構築しておく必要があります。iStorageManager と Integration Base を同一サーバ上で動作させる場合においても TCP/IP 環境は必要となるため、iStorageManager のセットアップにて TCP/IP 環境が構築されていることを確認してください。また、iStorageManager と Integration Base との間で接続を行うポート番号を一致させる必要があります（既定値：8020）。
2. ウイルススキャンのソフトウェアを導入している環境では、Integration Base のトレースファイル出力によりファイルチェックが常時行われる状態となります。それにより CPU 負荷が高くなり動作に影響がある場合があります。この場合、Integration Base のインストールフォルダ(既定値：システムドライブの“Program files¥NEC¥iSMSM” (64 ビット版の場合は、システムドライブの“Program files (x86)¥NEC¥iSMSM”))をウイルススキャンのソフトウェアでスキャン対象外にしてください。
3. 以下のような場合、システム管理者の権限に昇格してから操作を行ってください。
  - ・環境定義ファイルをテキストエディタなどで編集する場合

## 1.2 インストール

### 1.2.1 Integration Base のインストール

以下の手順に従って、Integration Base をインストールします。



1. インストール先のディスクやフォルダに、クォータ管理※1 やファイルスクリーニング※2 を適用する場合には、適切なご利用をお願いします。これらの使い方を誤った場合、インストール中や運用中に問題となることがあります。
  - ※1 使用容量に制限をかけ、設定した制限値以上は使用できないようにする機能です。
  - ※2 特定のファイル名（拡張子）のファイルを保存させないようにする機能です。
2. Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をご使用の場合、Windows 更新プログラム KB2999226 を事前に適用する必要があります。

- ① Administrator 権限でログオンします。
- ② DVD 媒体、または CD 媒体をセットし、以下のプログラムを起動してください。  
 DVD ドライブ: ¥IB¥WINDOWS¥SETUP.EXE  
 ※「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示される場合があります。「続行」、または「はい」を選択して、「Integration Base」セットアップを起動してください。
- ③ インストーラの指示に従って作業します。  
 インストール先既定値は、システムドライブの“Program files¥NEC¥iSMSM”（64 ビット版の場合は、システムドライブの“Program files (x86)¥NEC¥iSMSM”）の下となります。
- ④ インストール終了後、環境設定を行います。環境設定については、「1.3 環境設定」を参照してください。
- ⑤ 環境設定終了後、Integration Base（サービス名：Integration Base）を起動してください。  
 なお、サービスのスタートアップの種類は「自動」です。環境設定実施後は、システム起動時にサービスが自動的に開始されます。

## 1.2.2 Integration Base のアンインストール

以下の手順に従って、Integration Base をアンインストールします。

- ① Administrator 権限でログオンします。
- ② Integration Base と連携して動作しているソフトウェアが起動している場合は、停止してください。（※1）
- ③ サービスとイベントビューアの画面が開いている場合は、画面を閉じてください。
- ④ 「コントロールパネル」の「プログラムと機能」により、ソフトウェア「Integration Base」を削除します。このとき、サービス“Integration Base”が起動中であれば、サービス“Integration Base”は自動停止されます。なお、アンインストール後も環境定義ファイル、ログファイルは削除されません。

※「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示される場合があります。「続行」、または「はい」を選択して、アンインストールプログラムを実行してください。

（※1）Integration Base と連携して動作しているソフトウェアを停止せずにアンインストールを行うと、Windows の再起動を促すメッセージが表示される場合があります。当該メッセージが表示された場合は、メッセージに従い Windows を再起動してください。

## 1.2.3 Integration Base のアップデート

Integration Base をアップデートをする場合は、ソフトウェアのアンインストールを行ってからソフトウェアのインストールを行います。

手順は「1.2.1 インストール」、「1.2.2 アンインストール」を参照してください。

### 1.3 環境設定

Integration Base は、環境設定を行うことにより動作を変更することが可能です。ここでは環境設定について記述します。

### (1) 環境定義ファイル作成場所

インストール先フォルダ¥iSMSM¥conf¥iSMSM.confとして**環境**定義ファイルを作成します。**環境**定義ファイルの例として iSMSM.sample がインストールされるため、名前を変更して使用してください。

## (2) 環境定義ファイル記述規則

以下に**環境**定義ファイルの記述規則について記述します。

## section

環境定義ファイルの内容は、`section` により複数のブロックに分けられます。

section 名を "[" と "]" で囲み section の開始を指示します。

**parameter**

定義内容は、parameter で指示します。

parameter は、parameter の種別を識別するための keyword, "=", その値から構成されます。

keyword は、英大文字、英小文字、数字、" " から構成される句です。

keyword は、定められた section 内に通常 1 回しか指定できません。

値は、数値、文字列、または keyword が指定可能です。

数値の場合、0以上の整数を指定します。

文字列には 1byte の英数特殊文字を指定します。

### ＜文字列の指定＞

☆文字列は、""で囲むことにより以下に列挙したもの以外は記述できます。

tab, 改行, ""

☆文字列を、””で囲まない場合、以下に列挙したもの以外が記述できます。

tab, 改行, """", "", space, ";", "((", ")", "=", "#"

### <path の指定>

path の指定時は、必ず "" で全体を囲ってください。

☆下記の※1,2 の内容により以下の文字列以外は指定可能です。

“ ” ” ” / ” ” ¥ ” ” | ” ” : ” ” \* ” ” ? ”

※1 FAT の場合、ファイル名には以下の制限があります。

以下の文字列は、指定できません。

"", /, "¥", "[["], ", ":", ";", |, "=", "", "^", "\*", "?", space

拡張子は 3 文字以内。



ピリオドは1つしか使用できません。

大文字,小文字の区別はありません。

※2 NTFS,FAT32 の場合、ファイル名には以下の文字列は、指定できません。

“”, ”/”, ”¥”, ”|”, ”:”, ”\*”, ”?”, ”<”, ”>”

(例) iSMSM\_file\_directory=“c:¥program files¥nec¥iSMSM¥etc¥log¥”

iSMSvr\_file\_directory=“d:¥Windows¥temp”

#### <parameter の指定形式>

keyword と"="と値で構成されます。

(例) iSMSM\_file\_number=2                      数値を指定

iSMSM\_mode=API                              文字列を指定

これらの parameter の構成要素である、keyword と"="と値の前後には、空白、tab、改行を置くことができます。

#### コメント行

section の開始行と parameter 行の間、parameter 行と parameter 行の間（parameter の内部ではない行）に、行の先頭に"#"を指定して、その行をコメント行とすることができます。

これ以外の"#"は、コメント行の印としては扱いません。

例：

#これはコメント行です。

### (3) 設定情報

以下では設定情報の詳細を記述します。

iSMSM section : Integration Base 自身に関する情報を定義します。

[iSMSM]

iSMSM_mode = 動作モード
--------------------

セクション名	内容
[iSMSM]	Integration Base section の開始を示します。

パラメータ名	値	内容
iSMSM_mode	API	動作モードを指定します。 iSMSM_mode= API と指定してください。 本パラメータを API 以外とした場合は動作しなくなります。

server section : iStorageManager 接続に関する情報を定義します。

[server]

iSMsvr_addr = iStorageManager の IP アドレス、またはホスト名
iSMsvr_port = iStorageManager のポート番号

セクション名	内容
[server]	server section の開始を示します。

パラメータ名	値	内容
iSMsvr_addr	iStorageManager の IP アドレス、またはホスト名	接続する iStorageManager の IP アドレス、またはホスト名を指定してください。
iSMsvr_port	iStorageManager のポート番号	iStorageManager が Integration Base の接続を待ち合わせるポート番号を指定してください。 既定値 : 8020 範囲 : 1～65535

log section : ログ管理に関する情報を定義します。

[log]

iSMSM_file_directory = 運用ログ (Integration Base) の格納場所
iSMSM_file_size = 運用ログ (Integration Base) のファイルサイズ
iSMSM_file_number = 運用ログ (Integration Base) のファイル最大数
iSMsvr_file_directory = サーバログ (iStorageManager) の格納場所
iSMsvr_file_size = サーバログ (iStorageManager) のファイルサイズ
iSMsvr_file_number = サーバログ (iStorageManager) のファイル最大数

セクション名	内容
[log]	log section の開始を示します。

パラメータ名	値	内容
iSMSM_file_directory	運用ログ (Integration Base) の格納場所	運用ログ (Integration Base) の格納場所を絶対パスで指定してください。 既定値 : インストール先フォルダ¥iSMSM¥etc¥log¥ 最大文字数 : 246byte
iSMSM_file_size	運用ログ (Integration Base) のファイルサイズ	運用ログ (Integration Base) のファイルサイズの上限。 単位 : MB 既定値 : 1 範囲 : 1~10
iSMSM_file_number	運用ログ (Integration Base) のファイル最大数	運用ログ (Integration Base) の世代ファイルの最大数。 既定値 : 10 範囲 : 1~10
iSMsvr_file_directory	サーバログ (iStorage Manager) の格納場所	サーバログ (iStorageManager) の格納場所を絶対パスで指定してください。 既定値 : インストール先フォルダ¥iSMSM¥etc¥log¥ 最大文字数 : 246byte
iSMsvr_file_size	サーバログ (iStorage Manager) のファイルサイズ	サーバログ (iStorageManager) のファイルサイズの上限。 単位 : MB 既定値 : 1 範囲 : 1~10
iSMsvr_file_number	サーバログ (iStorage Manager) のファイル最大数	サーバログ (iStorageManager) の世代ファイルの最大数。 既定値 : 99 範囲 : 1~99

論理ディスク数が 1025 以上の場合は、coms section と dist section にソケットバッファサイズに関する設定を行ってください。

以下にソケットバッファサイズに関する設定の詳細を記述します。

coms section : ソケットバッファに関する設定を定義します。

[coms]

dist_in_buffsize = ソケットバッファサイズ
--------------------------------

セクション名	内容
[coms]	coms section の開始を示します。

パラメータ名	値	内容
dist_in_buffsize	ソケットバッファサイズ	論理ディスク数が 1025 以上の場合は、1024 を指定してください。 dist_in_buffsize=1024 ※論理ディスク数が 1024 以下の場合は、本 section を設定する必要はありません。

dist section : ソケットバッファに関する設定を定義します。

[dist]

func_in_buffsize = ソケットバッファサイズ
--------------------------------

セクション名	内容
[dist]	dist section の開始を示します。

パラメータ名	値	内容
func_in_buffsize	ソケットバッファサイズ	論理ディスク数が 1025 以上の場合は、1024 を指定してください。 func_in_buffsize=1024 ※論理ディスク数が 1024 以下の場合は、本 section を設定する必要はありません。

## ●付録 A メッセージ

### A.1 ログメッセージ

以下のメッセージは、Integration Base の運用ログに出力されるものです。イベントログに出力する場合は説明にイベントログに出力との記述があります。



1. Integration Base 起動または終了時に運用ログが出力できない部分があるため、以下のメッセージはイベントログにのみ出力されます。

51001、51003、 51010、51105、51108、51110、51230、51232、53022

## **iSM51001: Integration Base has started**

[種別] INFO

[説明] Integration Base が起動したことを示します（イベントログのみに出力）。

[処置] 不要です。

## **iSM51002: Integration Base is ready**

[種別] INFO

[説明] Integration Base が運用可能になったことを示します。

[処置] 不要です。

## **iSM51003: Integration Base has terminated normally**

[種別] INFO

[説明] Integration Base が通常終了したことを示します（イベントログのみに出力）。

[処置] 不要です。

## **iSM51006: Termination of Integration Base is started**

[種別] WARNING

[説明] Integration Base の終了処理が開始しました。

[処置] 不要です。

## **iSM51010: Integration Base has restarted**

[種別] INFO

[説明] Integration Base が再起動したことを示します（イベントログのみに出力）。

[処置] 不要です。

## iSM51103: Socket access failed.process=<aaa...a> func=<bbb...b> [errno=<cccc>|error=<ddd...d>] detail=<ee>-<ffff>

[種別] NOTICE

[説明] aaa...a で示されるプロセスとメインとのソケット通信でエラーが発生したことを示します。  
プロセスが停止している、または Integration Base のソケットパス（インストールフォルダ  
¥iSMSM¥etc¥sock）のファイル環境が不正な状態だと、このエラーが発生します。

aaa...a : プロセス名  
bbb...b : ソケットシステム関数名  
cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)  
ddd...d : エラー内容  
    timeout : タイムアウト  
    socket close : ソケットがクローズ  
ee-ffff : 詳細コード

[処置] errno が出力されている場合は、関数名およびエラー番号を確認して対処を行い、必要であれば Integration Base を再起動してください。

error が出力されている場合は、このメッセージの前に出力されているメッセージから原因を調査し、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM51105: File access failed.file=<aaa...a> func=<bbb...b> errno=<cccc> detail=<dd>-<eeee>

[種別] NOTICE

[説明] aaa...a で示されるファイルのアクセスでエラーが発生したことを示します。このメッセージ  
の場合、環境定義ファイル（インストールフォルダ¥iSMSM¥conf¥iSMSM.conf）や、制御ファ  
イル（インストールフォルダ¥iSMSM¥etc 配下のファイル）のファイル環境が、不正な状態  
になっていると考えられます（イベントログのみに出力）。

aaa...a : ファイルパス名  
bbb...b : ファイルシステム関数名  
cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)  
dd-eeee : 詳細コード

[処置] ファイルパス名、関数名およびエラー番号を確認して対処を行い、Integration Base を再起動  
してください。

## iSM51106: System call error occurred.process=<aaa...a> func=<bbb...b> errno=<cccc> detail=<dd>-<eeee>

[種別] NOTICE

[説明] ソケット、ファイルのアクセス以外のシステム関数でエラーが発生したことを示します。

aaa...a : プロセス名

bbb...b : システム関数名

cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号

(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

dd-eeee : 詳細コード

[処置] 関数名およびエラー番号を確認して対処を行い、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM51107: <aaa...a> process has terminated abnormally

[種別] WARNING

[説明] aaa...a で示されるプロセスが異常終了したことを示します。このメッセージの直前に異常終了したプロセスから原因のメッセージが報告されています (イベントログのみに出力)。

aaa...a : プロセス名

[処置] このメッセージの前に出力されているメッセージから原因を調査し、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM51108: Integration Base has already started

[種別] NOTICE

[説明] Integration Base が既に起動されていることを示します (イベントログのみに出力)。

[処置] 不要です。

## iSM51109: Inner error occurred.detail= <aa>-<bbbb>

[種別] WARNING

[説明] Integration Base のメインプロセスで内部エラーが発生したことを示します。Integration Base は停止します。

aa-bbbb : 詳細コード (このコードは障害理由を示す値ではなく、保守用の値です)

[処置] 情報を採取し、必要であれば Integration Base を再起動してください。情報の採取方法は「障害発生時に必要な情報採取について」を参照してください。



## **iSM51110: Illegal configuration. file=<aaa...a> line=<bbb> [section=<ccc...c>] [keyword=<ddd...d>] [value=<eee...e>] [token=<fff...f>]**

[種別] NOTICE

[説明] 環境定義ファイルに不正な記述を発見したことを示します。Integration Base は異常終了します（イベントログのみに出力）。

aaa...a : 環境定義ファイル名

bbb : 不正な記述を発見した行位置

ccc...c : セクション名もしくは不正な記述を発見したときの字句

ddd...d : パラメータ名もしくは不正な記述を発見したときの字句

eee...e : パラメータの値もしくは不正な記述を発見したときの字句

fff...f : 不正な記述を発見したときの字句

[処置] 出力メッセージをもとに対象となるファイル内の不正記述を探し、訂正してから Integration Base を再起動してください。

## **iSM51114: Version inconsistency : Integration Base <aaaaaaaa> / iSM Server <aaaaaaaa>**

[種別] INFO

[説明] Integration Base と、接続している iSM サーバのバージョンが異なっている。

aaaaaaaa : バージョン名

[処置] 運用に支障がある場合は、両者のバージョンを一致させてください。

## **iSM51230: Integration Base has terminated abnormally**

[種別] WARNING

[説明] Integration Base が異常終了したことを示します。このメッセージの前に原因となるメッセージが表示されています（イベントログのみに出力）。

[処置] このメッセージの前に出力されているメッセージから原因を調査し、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM51232: Integration Base has terminated abnormally by signal.signo=<aa>

[種別] ERROR

[説明] Integration Base がシグナルにより異常終了したことを示します。利用者によってシグナル送信(kill)された可能性があります (イベントログのみに出力)。

aa : シグナル番号

[処置] Integration Base を再起動してください。

## iSM52007: iSSMdist process abnormally terminated reason=<aaa>

[種別] INFO

[説明] iSSMdist プロセスが異常終了したことを示します。

aaa : 終了理由

001 : 例外発生

002 : socket 障害発生

003 : memory 障害発生

005 : その他

[処置] このメッセージの前に出力されているメッセージから原因を調査し、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM52008: iSSMcoms process abnormally terminated reason=<aaa>

[種別] INFO

[説明] iSSMcoms プロセスが異常終了したことを示します。

aaa : 終了理由

001 : 例外発生

002 : socket 障害発生

003 : memory 障害発生

005 : その他

[処置] このメッセージの前に出力されているメッセージから原因を調査し、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM52011: In initialization, shared memory allocation failed errno=<aaaaa>

[種別] NOTICE

[説明] 初期化処理において、共有メモリの取得に失敗したことを示します。

aaaaa : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] システムで使用可能な共有メモリが不足しています。

## iSM52020: Function Error has occurred name=<aaa...a> code=<bbbb> errno=<cccc>

[種別] NOTICE

[説明] 関数エラーが発生したことを示します。

aaa...a : 関数名  
bbbb : 内部コード  
cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] 該当関数に関連する設定を確認してください。

## iSM52021: Internal Error has occurred code=<aaaa> errno=<bbbbbb>

[種別] NOTICE

[説明] 内部エラーが発生したことを示します。

aaaa : 内部コード  
bbbbbb : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] Integration Base 動作環境、各種設定を確認してください。

## iSM52060: Data lost detected : <aaa...a>

[種別] NOTICE

[説明] 送受信データの欠落が発生したことを示します。

aaa...a : 送受信対象となるプロセス名、または iSM サーバ

[処置] Integration Base の動作環境、iSM サーバの動作環境などデータ送受信の妨げとなる状況を取り除いてください。API による要求に対する応答が欠落し、情報が不正となる可能性があります。

**iSM52061: Data lost recovered : <aaa...a>**

[種別] NOTICE

[説明] 送受信データの欠落が解消したことを示します。

aaa...a : 送受信対象となるプロセス名、または iSM サーバ

[処置] 欠落そのものが運用に問題ないか検証してください。

**iSM52070: connected with iSM server ip=<aaa...a>  
port=<bbbb>**

[種別] INFO

[説明] iSM サーバに接続したことを示します。

aaa...a : iSM サーバの IP アドレス

bbbb : port 番号

[処置] 不要です（要求通りの動作）。

**iSM52071: disconnected with iSM server ip=<aaa...a>  
port=<bbbb>**

[種別] INFO

[説明] iSM サーバと正常切断したことを示します。

aaa...a : iSM サーバの IP アドレス

bbbb : port 番号

[処置] 不要です（要求通りの動作）。

**iSM52072: disconnect failed with iSM server  
ip=<aaa...a> port=<bbbb> reason=<ccc>**

[種別] INFO

[説明] iSM サーバとの通信が異常切断したことを示します。

aaa...a : iSM サーバの IP アドレス

bbbb : port 番号

ccc : 切断理由

001 : 回線が切断した

009 : 切断要求時タイムアウトが発生

[処置] Integration Base、iSM サーバのログにより調査を行います。

## iSM52073: connect failed with iSM server ip=<aaa...a> port=<bbbb> reason=<ccc>

[種別] INFO

[説明] iSM サーバへの接続に失敗したことを示します。

aaa...a : iSM サーバの IP アドレス  
 bbbb : port 番号  
 ccc : 切断理由

001 : iSM サーバの内部障害  
 002 : 資源不足  
 003 : 認証失敗  
 004 : 最大接続台数超過  
 009 : タイムアウト  
 010 : connect()失敗  
 011 : iSM サーバが V1.3 以下  
 999 : その他

[処置] Integration Base、iSM サーバのログにより調査を行います。

## iSM53020: Function Error has occurred name=<aaa...a> code=<bbbb> errno=<cccc>

[種別] NOTICE

[説明] 関数エラーが発生したことを示します。

aaa...a : 関数名  
 bbbb : 内部コード  
 cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
 (内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] 該当関数に関連する設定の確認を行ってください。

## iSM53021: Internal Error has occurred code=<aaaa> errno=<bbbb>

[種別] NOTICE

[説明] 内部エラーが発生したことを示します。

aaaa : 内部コード  
 bbbbb : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号  
 (内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] Integration Base の動作環境、各種設定の確認を行ってください。

## iSM53022: Message send error has occurred process=<aaa...a> reason=<bbb>

[種別] WARNING

[説明] メッセージキューへの送信に失敗しました（イベントログのみに出力）。

aaa...a : プロセス名

bbb : 送信失敗理由

001 : 送信要求データ不正

002 : msgsnd()失敗

003 : その他

[処置] Integration Base の動作環境(メッセージキューに関するシステム定数)、各種設定の確認を行ってください。

## iSM53023: File write error has occurred file=<aaa...a>

[種別] ERROR

[説明] ファイルへの書き込みに失敗しました。

aaa...a : ファイル名

[処置] 該当ファイルの状態を確認してください(書き込み権限など)。

## iSM53024: File read error has occurred file=<aaa...a>

[種別] ERROR

[説明] ファイルの読み込みに失敗しました。

aaa...a : ファイル名

[処置] 該当ファイルの状態を確認してください(読み出し権限など)。

## iSM53025: File open error has occurred file=<aaa...a>

[種別] ERROR

[説明] ファイルのオープンに失敗しました。

aaa...a : ファイル名

[処置] 該当ファイルの存在や状態を確認してください。

## iSM53030: Last message repeated <a> times

[種別] INFO

[説明] 同じメッセージが繰り返し出力されています。

a : 繰り返し回数

[処置] 不要です。

## iSM53040: Log File has swapped, the latest backup=<aa>

[種別] WARNING

[説明] ログファイルの切り替えが行われました。

aa : 最新のバックアップファイル番号

[処置] 不要です（動作の通知メッセージ）。

## iSM53060: Log File write started host=<aaa...a>

[種別] INFO

[説明] 運用ログへの書き込みが開始したことを示す。

aaa...a : Integration Base が動作するマシンのホスト名

[処置] 不要です。

## iSM54003: iSSMrmon process abnormally terminated reason=<aaa>

[種別] INFO

[説明] iSSMrmon プロセスが異常終了したことを示します。

aaa : 終了理由

001 : 例外発生

002 : socket 障害発生

003 : memory 障害発生

005 : その他

[処置] このメッセージの前に出力されているメッセージから原因を調査し、必要であれば Integration Base を再起動してください。

## iSM54010: iSSMrmon service start

[種別] INFO

[説明] Integration Base の状態監視サービスが開始したことを示します。

[処置] 不要です。

## iSM54900: Process busy when terminate emergency, unexpected error messages maybe generated

[種別] WARNING

[説明] 状態監視プロセスが緊急停止を判断したが、直ちに終了できないことを示します。

[処置] 不要です。

## **iSM55020: Function Error has occurred name=<aaa...a> code=<bbbb> errno=<cccc>**

[種別] NOTICE

[説明] 関数エラーが発生したことを示します。

aaa...a : 関数名

bbbb : 内部コード

cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号

(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] 該当関数に関連する設定、Integration Base の動作環境を確認してください。

## **iSM55021: Internal Error has occurred code=<aaaa> errno=<bbbb>**

[種別] NOTICE

[説明] 内部エラーが発生したことを示します。

aaaa : 内部コード

bbbb : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号

(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] Integration Base 動作環境、各種設定を確認してください。

## **iSM55100: Information sense error : info=<aaa...a>, status= failed(<bbb...b>), Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ情報の取得に失敗したことを示します。

aaa...a : Readbuffer のコマンド名

bbb...b : エラーの詳細

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。



## **iSM55101: Configuration reserved Disk Array. : Disk Array=<aaa...a>, status=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイの構成設定を開始したことを示します。

aaa...a : ディスクアレイ名

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

[処置] エラー時、指定ディスクアレイが他の構成設定ソフトウェアにより構成設定中である可能性があります。すべての構成設定ソフトウェアを終了後、再度実行してください。

## **iSM55102: Configuration released Disk Array. : Disk Array=<aaa...a>, status=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイの構成設定を終了したことを示します。

aaa...a : ディスクアレイ名

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

[処置] エラー時、ディスクアレイまたは、コントロールパスに障害が発生した可能性があります。障害復旧後、Integration Base を終了し、再度実行してください。

## **iSM55103: LD bind : LDN=<aaaa>h, <bbbb>, RANK=<cc>h, PDG=<dd>h, status=<eee...e>, Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] 論理ディスクの構築を実行したことを示します。

aaaa : 論理ディスク番号

bbbb : 所有権を設定するコントローラ (CNT0 or CNT1)

cc : RANK 番号

dd : PD グループ番号

eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55104: LD unbind : LDN=<aaaa>h, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] 論理ディスクの解除を実行したことを示します。

aaaa : 論理ディスク番号

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55105: RANK bind : RANK=<aa>h, PDN=<bb>h, PDG=<cc>h, Time=<dd>, RAID=<ee>, status=<fff...f>, Disk Array=<ggg...g>

[種別] INFO

[説明] RANK の構築を実行したことを示します。

aa : RANK 番号

bb : 物理ディスク番号

cc : PD グループ番号

dd : 修復時間

ee : RAID 形式

fff...f : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ggg...g : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55106: RANK unbind : RANK=<aa>h, PDG=<bb>h, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] RANK の解除を実行したことを示します。

aa : RANK 番号

bb : PD グループ番号

ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55107: Dynamic capacity expansion : RANK=<aa>h, PDN=<bb>h, PDG=<cc>h, Time=<dd>, status=<eee...e>, Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] RANK の拡張を実行したことを示します。

aa : RANK 番号  
bb : 物理ディスク番号  
cc : PD グループ番号  
dd : 拡張時間  
eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定 RANK の状態が正常ではない(Rebuild、Reduce など)可能性があります。状態監視を再開し、現在の状態を確認してください。

## **iSM55108: SPARE bind : PDN=<aa>h, PDG=<bb>h, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] SPARE の構築を実行したことを示します。

aa : 物理ディスク番号  
bb : PD グループ番号  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55109: SPARE unbind : PDN=<aa>h, PDG=<bb>h, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] SPARE の解除を実行したことを示します。

aa : 物理ディスク番号  
bb : PD グループ番号  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55110: Set ownership : LDN=<aaaa>h, <bbbb>, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] 論理ディスクの所有権を設定したことを示します。

aaaa : 論理ディスク番号  
 bbbb : 所有権を設定するコントローラ (CNT0 or CNT1)  
 ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。指定論理ディスクが存在するかを確認してください。

## iSM55111: Cross call : mode=<aaa>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] Cross call のオン・オフを実行したことを示します。

aaa : on, off  
 bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55112: Set Disk Array time : <aaa...a>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ内の年月日、時刻の設定を実行したことを示します。

aaa...a : 年月日、時間（例：Thu May 24 14:03:01 2001）または Server time  
 bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、不正な日時が指定された可能性があります。設定値を確認し再度実行してください。

## **iSM55113: Rebuild(maintenance) : RANK=<aa>h, PDN=<bb>h, PDG=<cc>h, Time=<dd>, status=<eee...e>, Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] 指定した物理ディスクに対して修復開始を指示したことを示します。

aa : RANK 番号  
bb : 物理ディスク番号  
cc : PD グループ番号  
dd : 修復時間  
eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55114: Forced Reduce(maintenance) : RANK=<aa>h, PDN=<bb>h, PDG=<cc>h, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] 指定した物理ディスクに対して強制縮退を指示したことを示します。

aa : RANK 番号  
bb : 物理ディスク番号  
cc : PD グループ番号  
ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55115: Preventive Reduce(maintenance) :** **RANK=<aa>h, PDN=<bb>h, PDG=<cc>h,** **status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] 指定した物理ディスクに対して予防交換を指示したことを示します。

aa : RANK 番号  
 bb : 物理ディスク番号  
 cc : PD グループ番号  
 ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55116: SPARE Rebuild(maintenance) :** **RANK=<aa>h, PDN=<bb>h, PDG=<cc>h,** **Time=<dd>, status=<eee...e>,** **Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] 指定した物理ディスクに対して SPARE を使った修復開始を指示したことを示します。

aa : RANK 番号  
 bb : 物理ディスク番号  
 cc : PD グループ番号  
 dd : 修復時間  
 eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55117: Set Rebuild time(maintenance) : PDG=<aa>h, Time=<bb>, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] 現在修復中の物理ディスクを対象にして修復時間を変更したことを示します。

aa : PD グループ番号  
bb : 修復時間  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55118: Auto repair mode : mode=<aaa>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] 自動復旧のオン・オフを実行したことを示します。

aaa : on, off  
bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55119: Temp. sense interval(maintenance) : interval=<aaaaa>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] 温度監視間隔の設定を実行したことを示します。

aaaaa : 温度監視間隔 (分)  
bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、不正な温度監視間隔が指定された可能性があります。設定値を確認し再度実行してください。

**iSM55120: FW download(maintenance) :**  
**resource=<aaa>, PDG=<bb>h,**  
**number=<cc>h, status=<ddd...d>,**  
**Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ファームウェアのダウンロードを実行したことを示します。

aaa : 対象リソース

PD : 物理ディスク

HD : ホストディレクタ

DE : ディスクエンクロージャ

SVP : サービスプロセッサ

bb : PD グループ番号 (対象リソースが PD の場合のみ有効)

cc : リソースの番号あるいは all

ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、FW ファイルまたは、対象リソースの状態が正常か確認してください。

**iSM55121: Disk Array log init(maintenance) :**  
**status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ内部ログの初期化を実行したことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。



## **iSM55122: Media error list init(maintenance) :** **RANK=<aa>h, PDG=<bb>h, status=<ccc...c>,** **Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ内部の Media error list を初期化したことを示します。

aa : RANK 番号  
 bb : PD グループ番号  
 ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55123: PD recovery report init(maintenance) :** **status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ内部の PD recovery report を初期化したことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55124: Set SPARE mode : mode=<aaa>,** **status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] 障害復旧時のデータ書き戻しのオン・オフを実行したことを示します。

aaa : on, off  
 bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55125: Set write cache mode(maintenance) : <aaa> mode=<bbb>, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] write cache モードのオン・オフを実行したことを示します。

aaa : BBU (バッテリバックアップユニット) あるいは CNT (コントローラ)  
bbb : on, off  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55126: RANK rebuild time : RANK=<aa>h, PDG=<bb>h, Time=<cc>, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] RANK の修復時間を変更したことを示します。

aa : RANK 番号  
bb : PD グループ番号  
cc : 修復時間  
ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55127: LD format time: Time=<aa>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] 論理ディスクの構築時間を変更したことを示します。

aa : 構築時間  
bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55128: Auto assignment mode: mode=<aaa>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] auto assignment モードの実行をしたことを示します。

aaa : on, off

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55129: Expand LUN mode: HD=<aa>h, Port=<bb>h, mode=<ccc>, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] Expand LUN モードの実行をしたことを示します。

aa : ホストディレクタ番号

bb : Port の番号

ccc : on, off

ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55132: Nickname: type=<aaa...a>, number=<bbbb>, newname=<ccc...c>, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] ニックネームの変更を実行したことを示します。

aaa...a : 変更対象

Disk array name : ディスクアレイ名

LD name : 論理ディスク名

Port name : ポート名

bbbb : リソースの番号 (論理ディスク名, ポート名設定時のみ有効)

ccc...c : 変更名称

ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55133: Configuration clear : status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] 一括構成解除を実行したことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55134: Function Error has occurred : name=<aaa...a>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] 関数エラーが発生したことを示します。

aaa...a : 関数名

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] iSM サーバあるいは Integration Base を構成するプロセスに異常が発生していないかまたは、運用環境に異常が発生していないかを確認し、iSM サーバを再起動してください。

## iSM55135: Set Port Platform : Platform=<aa>, HD=<bb>h, Port=<cc>h, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] Port のプラットフォームの設定を実行したことを示します。

aa : Port のプラットフォーム  
bb : ホストディレクタ番号  
cc : Port の番号  
ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55137: Set license <aaaaaaa> : Product=<bbb...b>, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ライセンスのロック解除またはロックをしたことを示します。

aaaaaaa : 設定種別。release あるいは lock  
bbb...b : ライセンス設定を行った Product 名  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55138: Set Disk Array update : status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ストレージ制御ソフトの update が実行されたことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55139: Set SVP configuration : status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] SVP に対する設定が実行されたことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55149: Shutdown : mode=<aaa...a>, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] 装置の Shutdown を実行したことを示します。

aaa...a : シャットダウンモード(Shutdown、Shutdown Cancel、Reboot)

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55150: Batch LD bind : LD count=<aaaa>h, RANK=<bbbb>h, PDG=<cc>h, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] RANK に複数の論理ディスクを一括構築します。

aaaa : 論理ディスク数

bbbb : RANK 番号

cc : PD グループ番号

ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

**iSM55200: POOL bind : POOL type=<aaa...a>,  
POOL=<bbbb>h, PDN=<cc>, PDG=<dd>h,  
Time=<ee>, RAID=<fff...f>, status=<ggg...g>,  
Disk Array=<hhh...h>**

[種別] INFO

[説明] プールの構築を実行したことを示します。

aaa...a : POOL 種類  
bbbb : POOL 番号  
cc : PD 番号  
dd : PD グループ番号  
ee : 修復時間  
fff...f : RAID タイプ  
ggg...g : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
hhh...h : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

**iSM55201: DYNAMICPOOL capacity expansion :  
POOL=<aaaa>h, PDN=<bb>, PDG=<cc>h,  
restruct=<ddd...d>, Time=<ee>,  
status=<fff...f>, Disk Array=<ggg...g>**

[種別] INFO

[説明] ダイナミックプールの拡張を実行したことを示します。

aaaa : POOL 番号  
bb : PD 番号  
cc : PD グループ番号  
ddd...d : 再構成  
on : あり  
off : なし  
ee : 修復時間  
fff...f : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ggg...g : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定したダイナミックプールの状態が正常ではない(Rebuild、Reduce など)可能性があります。状態監視を再開し、現在の状態を確認してください。

## iSM55202: POOL unbind : POOL=<aaaa>h, status=<bbb...b>, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] プールの解除を実行したことを示します。

aaaa : POOL 番号

bbb...b : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55203: POOL change : POOL=<aaaa>h, newname=<bbb...b>, rebuildtime=<cc>, expandtime=<ddd>, status=<eee...e>, Disk Array=<fff...f>

[種別] INFO

[説明] プールの設定変更を実行したことを示します。

aaaa : POOL 番号

bbb...b : 設定したプールの新名称

cc : 修復時間

ddd : 拡張時間

eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。



## iSM55204: POOL LD bind : POOL type=<aaa...a>, LDN=<bbbb>h, POOL=<cccc>h, quickformat=<ddd>, status=<eee...e>, Disk Array=<fff...f>

[種別] INFO

[説明] プールに論理ディスクの構築を実行したことを示します。

aaa...a : POOL 種類  
 bbbb : 論理ディスク番号  
 cccc : POOL 番号  
 ddd : クイックフォーマットの利用有無を示します。  
     on : クイックフォーマットを利用しています  
     off : クイックフォーマットを利用していません  
 eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55205: DYNAMICPOOLLD capacity expansion : LDN=<aaaa>h, Time=<bbb>, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ダイナミックプール上の論理ディスクの拡張を実行したことを示します。

aaaa : 論理ディスク番号  
 bbb : 拡張時間  
 ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定論理ディスクの状態が正常ではない(Rebuild、Reduce など)可能性があります。状態監視を再開し、現在の状態を確認してください。

## **iSM55206: Pd of different capacity or rotational speed is mixed : operation=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] 選択した PD の容量/回転数が混在することを示します。

aaa...a : 行う操作(Basic Pool Bind / Dynamic Pool Bind / Dynamic Pool Expand)

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## **iSM55207: Batch LD bind : LD count=<aaaa>h, POOL type =<bbb...b>, POOL=<cccc>h, quickformat=<ddd>, status=<eee...e>, Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] プールに複数の論理ディスクを一括構築します。

aaaa : 論理ディスク数

bbb...b : POOL 種類

cccc : POOL 番号

ddd : クイックフォーマットの利用有無を示します。

on : クイックフォーマットを利用しています

off : クイックフォーマットを利用していません

eee...e : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

fff...f : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55208: POOL bind simulation : POOL type=<aaa...a>, POOL=<bbbb>h, PDN=<cc>, PDG=<dd>h, Time=<ee>, RAID=<fff...f>, status=<ggg...g>, Disk Array=<hhh...h>

[種別] INFO

[説明] プールの構築のシミュレーションを実行したことを示します。

aaa...a : POOL 種類  
 bbbb : POOL 番号  
 cc : PD 番号  
 dd : PD グループ番号  
 ee : 修復時間  
 fff...f : RAID タイプ  
 ggg...g : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 hhh...h : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55209: Dynamic capacity expansion simulation : POOL=<aaaa>h, PDN=<bb>, PDG=<cc>h, restruct=<ddd...d>, Time=<ee>, status=<fff...f>, Disk Array=<ggg...g>

[種別] INFO

[説明] ダイナミックプールの拡張のシミュレーションを実行したことを示します。

aaaa : POOL 番号  
 bb : PD 番号  
 cc : PD グループ番号  
 ddd...d : 再構成  
     on : あり  
     off : なし  
 ee : 修復時間  
 fff...f : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
 ggg...g : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定したダイナミックプールの状態が正常ではない(Rebuild、Reduce など)可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55210: LD quota/threshold change : LDN=<aaaa>h, quota=<bb>%, threshold=<cc>%, status=<ddd...d>, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] 仮想容量論理ディスクの LD 容量クォータ/しきい値の変更を実行したことを示します。

aaaa : LD 番号  
bb : LD 容量クォータ  
cc : LD 容量しきい値  
ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定した仮想容量論理ディスクの状態が正常ではない可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55211 : Alarmreset : resource=<aaaa>, number=<bbbb>h, status=<ccc...c> Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] 仮想容量プール/論理ディスクのアラーム解除を実行したことを示します。

aaaa : リソース種別  
POOL : 仮想容量プール  
LD : 仮想容量論理ディスク  
bbbb : POOL/LD 番号  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定した仮想容量プール/論理ディスクの状態が正常ではない可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55212: DYNAMICPOOL expandtime get : POOL=<aaaa>h, expandtime=<bbb>, status=<ccc...c>, Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ダイナミックプールの拡張時間を取得したことを示します。

aaaa : POOL 番号

bbb : 拡張時間

ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55213: Unused PD/SPARE Eco Mode set: status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] 未使用ディスク/スペアの省電力機能の有効/無効を設定したことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更された可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## **iSM55214: PD rotation: status=<aaa...a>, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] 物理ディスクに稼働開始/停止を設定したことを示します。

aaa...a : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定した物理ディスクの状態が正常ではない (Rebuild、Reduce など) 可能性があります。状態監視を再開し、現在の状態を確認してください。

**iSM55215: POOL threshold/threshold(pre) change:  
POOL=<aaaa>h, threshold=<bb>%,  
threshold(pre)=<cc>%, status=<ddd...d>,  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] 仮想容量プールの実容量しきい値/しきい値（予告）の変更を実行したことを示します。

aaaa : POOL 番号  
bb : 実容量しきい値  
cc : 実容量しきい値（予告）  
ddd...d : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定したプールの状態が正常ではない可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

**iSM55216: LD response mode changed: LDN=<aaaa>h,  
access=<bbb>, status=<ccc...c>,  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] 仮想容量論理ディスクの容量不足（実容量不足またはクォータ超え）が発生した場合の応答動作を設定したことを示します。

aaaa : 論理ディスク番号  
bbb : 論理ディスクの応答動作  
off : 論理ディスクをアクセス不可とする  
(アクセス不可となり、Read/Write できなくなります)  
on : 論理ディスクをアクセス不可としない  
(アクセスは不可とならず、Read のみ可能となります)  
ccc...c : API の実行状態。good あるいは failed(xxxx)  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] エラー時、ディスクアレイの構成または、設定が変更されたか、指定した論理ディスクの状態が正常ではない可能性があります。現在の状態を確認し再度実行してください。

## iSM55300: Internal Error has occurred : code=<aaaaaaaa> Disk Array=<bbb...b>

[種別] NOTICE

[説明] 内部エラーが発生したことを示します。

aaaaaaaa : 詳細コード

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] Integration Base 動作環境、各種設定を確認してください。

## iSM55301: EXCLSVADDLD : LD\_SET=<aaa...a>, LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h, LUN=<dddd>h, status=good, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: eee...e) の LD セット (名称: aaa...a) に対して論理ディスク (名称: bbb...b、番号: cccch) を LUN (番号: ddddh) に追加したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : 論理ディスク名

cccc : 論理ディスク番号

dddd : LUN

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55302: EXCLSVADDLD : LD\_SET=<aaa...a>, LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h, LUN=<dddd>h, status=failed(code=<eeeeeeee>), Disk Array=<fff...f>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: fff...f) の LD セット (名称: aaa...a) の LUN (番号: ddddh) に対する論理ディスク (名称: bbb...b、番号: cccch) の割り付けが失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : 論理ディスク名

cccc : 論理ディスク番号

dddd : LUN

eeeeeeee : 詳細コード

fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55303: PRSVLD : LD\_SET=<aaa...a>,  
LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h,  
LUN=<dddd>h, status=good,  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のLDセット（名称：aaa...a）のLUN（番号：ddddh）に割り付け済みの論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）を保管グループへ返却したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55304: PRSVLD : LD\_SET=<aaa...a>,  
LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h,  
LUN=<dddd>h,  
status=failed(code=<eeeeeeee>),  
Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）のLDセット（名称：aaa...a）のLUN（番号：ddddh）に割り付け済みの論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）を保管グループへ返却することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eeeeeeee : 詳細コード  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。



## iSM55305: PRSVLD : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=good, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の LD セット（名称：aaa...a）に割り付け済みの論理ディスクすべてを保管グループへ返却したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55306: PRSVLD : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の LD セット（名称：aaa...a）に割り付け済みの論理ディスクすべてを保管グループへ返却することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbbbbbbbb : 詳細コード

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55307: RSVLD : LD\_SET=<aaa...a>, LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h, LUN=<dddd>h, status=good, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の LD セット（名称：aaa...a）の LUN（番号：ddddh）に割り付け済みの論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）を予約グループへ返却したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : 論理ディスク名

cccc : 論理ディスク番号

dddd : LUN

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55308: RSVLD : LD\_SET=<aaa...a>, LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h, LUN=<dddd>h, status=failed(code=<eeeeeeee>), Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）の LD セット（名称：aaa...a）の LUN（番号：ddddh）に割り付け済みの論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccc）を予約グループへ返却することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eeeeeeee : 詳細コード  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55309: RSVLD : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=good, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の LD セット（名称：aaa...a）に割り付け済みの論理ディスクすべてを予約グループへ返却したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55310: RSVLD : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の LD セット（名称：aaa...a）に割り付け済みの論理ディスクのすべてを予約グループへ返却することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbbbbbbbb : 詳細コード  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55311: CHGRSVLD : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h, status=good,  
Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: ccc...c) の保管グループの論理ディスク (名称: aaa...a、番号: bbbbh) を予約グループへ変更したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55312: CHGRSVLD : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h,  
status=failed(code=<cccccccc>),  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: ddd...d) の保管グループの論理ディスク (名称: aaa...a、番号: bbbbh) を予約グループへ変更することに失敗したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
cccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55313: CHGPRSVLD : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h, status=good,  
Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: ccc...c) の予約グループの論理ディスク (名称: aaa...a、番号: bbbbh) を保管グループへ変更したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55314: CHGPRSVLD : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h,  
status=failed(code=<cccccccc>),  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の予約グループの論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を保管グループへ変更することに失敗したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
ccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55315: SETOPTMZ : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h, status=good,  
Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を性能最適化用のワークディスクに設定したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55316: SETOPTMZ : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h,  
status=failed(code=<cccccccc>),  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を性能最適化用のワークディスクに設定することに失敗したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
ccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55317: CANCELOPTMZ : LD\_NAME=<aaa...a>, LDN=<bbbb>h, status=good, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を性能最適化用ワークディスク設定から解除したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55318: CANCELOPTMZ : LD\_NAME=<aaa...a>, LDN=<bbbb>h, status=failed(code=<cccccccc>), Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を性能最適化用ワークディスク設定から解除することに失敗したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
cccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55319: INITLD : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h, TIME=<cc>,  
INITEVN=<ddd>, status=good,  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を初期化したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
cc : 初期化時間  
ddd : 論理ディスク名の初期化の設定有無を示します。  
on : 論理ディスク名を初期化します  
off : 論理ディスク名の初期化を行いません  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55320: INITLD : LD\_NAME=<aaa...a>,  
LDN=<bbbb>h, TIME=<cc>,  
INITEVN=<ddd>,  
status=failed(code=<eeeeeeee>),  
Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）の初期化に失敗したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
bbbb : 論理ディスク番号  
cc : 初期化時間  
ddd : 論理ディスク名の初期化の設定有無を示します。  
on : 論理ディスク名を初期化します  
off : 論理ディスク名の初期化を行いません  
eeeeeeee : 詳細コード  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55321: LDOperationLock : LD\_NAME=<aaa...a>, LDN=<bbbb>h, MODE=<ccc>, status=good, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
 bbbb : 論理ディスク番号  
 ccc : ロックのモードを示します。  
     on : ロックします  
     off : ロックを解除します  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55322: LDOperationLock : LD\_NAME=<aaa...a>, LDN=<bbbb>h, MODE=<ccc>, status=failed(code=<ddddddddd>), Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の論理ディスク（名称：aaa...a、番号：bbbbh）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除することに失敗したことを示します。

aaa...a : 論理ディスク名  
 bbbb : 論理ディスク番号  
 ccc : ロックのモードを示します。  
     on : ロックします  
     off : ロックを解除します  
 dddddddd : 詳細コード  
 eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55323: LDOperationLock : LD\_SET=<aaa...a>, MODE=<bbb>, status=good, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のLD セット（名称：aaa...a）に割り付いている論理ディスクを構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb : ロックのモードを示します。  
on : ロックします  
off : ロックを解除します  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55324: LDOperationLock : LD\_SET=<aaa...a>, MODE=<bbb>, status=failed(code=<cccccccc>), Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）のLD セット（名称：aaa...a）に割り付いている論理ディスクを構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb : ロックのモードを示します。  
on : ロックします  
off : ロックを解除します  
cccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。



**iSM55325: PORTOPERATIONLOCK :**  
**PORT\_NAME=<aaa...a> ,**  
**PORT\_NUMBER=<bb>h-<bb>h,**  
**MODE=<ccc> , status=good,**  
**Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）のポート（名称：aaa...a、番号：bbh·bbh）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除したことを示します。

aaa...a : ポート名  
 bb·bb : ポート番号  
 ccc : ロックのモードを示します。  
     on : ロックします  
     off : ロックを解除します  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55326: PORTOPERATIONLOCK :**  
**PORT\_NAME=<aaa...a> ,**  
**PORT\_NUMBER=<bb>h-<bb>h,**  
**MODE=<ccc> ,**  
**status=failed(code=<ddddddddd>),**  
**Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のポート（名称：aaa...a、番号：bbh·bbh）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除することに失敗したことを示します。

aaa...a : ポート名  
 bb·bb : ポート番号  
 ccc : ロックのモードを示します。  
     on : ロックします  
     off : ロックを解除します  
 dddddddd : 詳細コード  
 eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55327: PORTOPERATIONLOCK : LD\_SET=<aaa...a>, MODE=<bbb>, status=good, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の LD セット（名称：aaa...a）に割り付いているポートを構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb : ロックのモードを示します。

on : ロックします

off : ロックを解除します

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55328: PORTOPERATIONLOCK : LD\_SET=<aaa...a>, MODE=<bbb>, status=failed(code=<cccccccc>), Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の LD セット（名称：aaa...a）に割り付いているポートを構成設定の操作ガードによりロックまたはロックを解除することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb : ロックのモードを示します。

on : ロックします

off : ロックを解除します

cccccccc : 詳細コード

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55329: DISKARRAYOPERATIONLOCK : MODE=<aaa>, status=good, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロック解除したことを示します。

aaa : ロックのモードを示します。  
on : ロックします  
off : ロックを解除します  
bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55330: DISKARRAYOPERATIONLOCK : MODE=<aaa>, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロック解除することに失敗したことを示します。

aaa : ロックのモードを示します。  
on : ロックします  
off : ロックを解除します  
bbbbbbbbb : 詳細コード  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55333: LDSETOperationLock : LD\_SET=<aaa...a>, MODE=<bbb>, status=good, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のLDセット（名称：aaa...a）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロック解除したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb : ロックのモードを示します。  
on : ロックします  
off : ロックを解除します  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55334: LDSETOperationLock : LD\_SET=<aaa...a>, MODE=<bbb>, status=failed(code=<cccccccc>), Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のLDセット（名称：aaa...a）を構成設定の操作ガードによりロックまたはロック解除することに失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb : ロックのモードを示します。  
on : ロックします  
off : ロックを解除します  
cccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55502: ADDLDSET : LD\_SET=<aaa...a>, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）に対する LD セット（名称：aaa...a）の追加に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbbbbbbbb : 詳細コード

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55503: DELLDSET : LD\_SET=<aaa...a>, status=good, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）から LD セット（名称：aaa...a）を削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55504: DELLDSET : LD\_SET=<aaa...a>, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）に対する LD セット（名称：aaa...a）の削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbbbbbbbb : 詳細コード

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55505: ADDLDSETLD : LD\_SET=<aaa...a>,  
LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h,  
LUN=<dddd>h, status=good,  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の LD セット（名称：aaa...a）に対して論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）を LUN（番号：ddddd）に追加したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55506: ADDLDSETLD : LD\_SET=<aaa...a>,  
LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h,  
LUN=<dddd>h,  
status=failed(code=<eeeeeeee>),  
Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）の LD セット（名称：aaa...a）の LUN（番号：ddddd）に対する論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）の割り付けが失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eeeeeeee : 詳細コード  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55507: DELLDSETLD : LD\_SET=<aaa...a>,  
LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h,  
LUN=<dddd>h, status=good,  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の LD セット（名称：aaa...a）の LUN（番号：ddddh）から論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）を削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55508: DELLDSETLD : LD\_SET=<aaa...a>,  
LD\_NAME=<bbb...b>, LDN=<cccc>h,  
LUN=<dddd>h,  
status=failed(code=<eeeeeeee>),  
Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）の LD セット（名称：aaa...a）の LUN（番号：ddddh）に対する論理ディスク（名称：bbb...b、番号：cccch）の削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 論理ディスク名  
cccc : 論理ディスク番号  
dddd : LUN  
eeeeeeee : 詳細コード  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55509: DELLDSETLD : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=good, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の LD セット（名称：aaa...a）から論理ディスクを一括削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55510: DELLDSETLD : LD\_SET=<aaa...a>, ALL, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）の LD セット（名称：aaa...a）に対する論理ディスクの一括削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbbbbbbbb : 詳細コード

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55511: ADDLDSETPATH : LD\_SET=<aaa...a>, PATH=<bbb...b>[(<ccc...c>)], status=good, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の LD セット（名称：aaa...a）に対してパス(bbb...b)を追加したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : パス情報（WWPN またはポート番号）

ccc...c : ポート名（Port モードの場合）

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。



**iSM55512: ADDLDSETPATH : LD\_SET=<aaa...a>,  
PATH=<bbb...b>[(<ccc...c>)],  
status=failed(code=<ddddddddd>),  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のLDセット（名称：aaa...a）に対するパスの追加に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : パス情報（WWPN またはポート番号）  
ccc...c : ポート名（Port モードの場合）  
ddddddddd : 詳細コード  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55513: CHGLDSETPATH : LD\_SET=<aaa...a>,  
OLD\_PATH=<bbb...b>[(<ccc...c>)],  
NEW\_PATH=<ddd...d>[(<eee...e>)],  
status=good, Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）のLDセット（名称：aaa...a）へのパス bbb...b を ddd...d に変更したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : 変更前のパス情報（WWPN またはポート番号）  
ccc...c : 変更前のポート名（Port モードの場合）  
ddd...d : 変更後のパス情報（WWPN またはポート番号）  
eee...e : 変更後のポート名（Port モードの場合）  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55514: CHGLDSETPATH : LD\_SET=<aaa...a>,  
 OLD\_PATH=<bbb...b>[(<ccc...c>)],  
 NEW\_PATH=<ddd...d>[(<eee...e>)],  
 status=failed(code=<ffffff>),  
 Disk Array=<ggg...g>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: ggg...g) の LD セット (名称: aaa...a) へのパス bbb...b から ddd...d へのパスの変更が失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
 bbb...b : 変更前のパス情報 (WWPN またはポート番号)  
 ccc...c : 変更前のポート名 (Port モードの場合)  
 ddd...d : 変更後のパス情報 (WWPN またはポート番号)  
 eee...e : 変更後のポート名 (Port モードの場合)  
 fffffff : 詳細コード  
 ggg...g : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55515: DELLDSETPATH : LD\_SET=<aaa...a>,  
 PATH=<bbb...b>[(<ccc...c>)],  
 status=good, Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: ddd...d) の LD セット (名称: aaa...a) に対してパス(bbb...b)を削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
 bbb...b : パス情報 (WWPN またはポート番号)  
 ccc...c : ポート名 (Port モードの場合)  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

### iSM55516: DELLDSETPATH : LD\_SET=<aaa...a>, PATH=<bbb...b>[(<ccc...c>)], status=failed(code=<ddddddddd>), Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のLDセット（名称：aaa...a）に対するパスの削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : パス情報（WWPN またはポート番号）  
ccc...c : ポート名（Port モードの場合）  
ddddddddd : 詳細コード  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

### iSM55517: CTLACC : ACCESS\_CONTROL=<aaa>, status=good, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）のアクセスコントロール機能を開始または停止したことを示します。

aaa : 開始または停止操作のいずれかが行われたかを示します。  
ON : アクセスコントロール機能の開始  
OFF : アクセスコントロール機能の停止  
bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

### iSM55518: CTLACC : ACCESS\_CONTROL=<aaa>, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のアクセスコントロール機能の開始または停止に失敗したことを示します。

aaa : 開始または停止操作のいずれかが行われたかを示します。  
ON : アクセスコントロール機能の開始  
OFF : アクセスコントロール機能の停止  
bbbbbbbbb : 詳細コード  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55519: CHGACCMODE : PORT\_NAME=<aaa...a>,  
PORT\_NUMBER=<bb>h-<bb>h,  
MODE=<cccc>, status=good,  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のポート（名称：aaa...a、番号：bbh-bbh）のアクセスコントロールを WWN モードまたは Port モードに変更したことを示します。

aaa...a : ポート名

bb-bb : ポート番号

cccc : 変更後のアクセスコントロールのモードを示します。

WWN : WWN モード

Port : Port モード

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55520: CHGACCMODE : PORT\_NAME=<aaa...a>,  
PORT\_NUMBER=<bb>h-<bb>h,  
MODE=<cccc>,  
status=failed(code=<ddddddddd>),  
Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のポート（名称：aaa...a、番号：bbh-bbh）の変更に失敗したことを示します。

aaa...a : ポート名

bb-bb : ポート番号

cccc : 変更後のアクセスコントロールのモードを示します。

WWN : WWN モード

Port : Port モード

dddddddd : 詳細コード

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55521: CHGACCMODE : All Port, MODE=<aaaa>, status=good, Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称:bbb...b) のポートのアクセスコントロールを WWN モードまたは Port モードに一括変更したことを示します。

aaaa : 変更後のアクセスコントロールのモードを示します。

WWN : WWN モード

Port : Port モード

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55522: CHGACCMODE : All Port, MODE=<aaaa>, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称:bbb...b) のポートの一括変更に失敗したことを示します。

aaaa : 変更後のアクセスコントロールのモードを示します。

WWN : WWN モード

Port : Port モード

bbbbbbbbb : 詳細コード

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55523: CHGLDSETNAME : OLD\_LD\_SET=<aaa...a>, NEW\_LD\_SET=<bbb...b>, status=good, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称:ccc...c) の LD セット (名称:aaa...a) の名称を LD セット (名称:bbb...b) に変更したことを示します。

aaa...a : 変更前の LD セット

bbb...b : 変更後の LD セット

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55524: CHGLDSETNAME : OLD\_LD\_SET=<aaa...a>,  
NEW\_LD\_SET=<bbb...b>,  
status=failed(code=<cccccccc>),  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の LD セット（名称：aaa...a）から LD セット（名称：bbb...b）への名称変更が失敗したことを示します。

aaa...a : 変更前の LD セット

bbb...b : 変更後の LD セット

cccccccc : 詳細コード

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55525: RESETUPPF : LD\_SET=<aaa...a>,  
status=good, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の LD セット（名称：aaa...a）のプラットフォームの再設定が成功したことを示します。

aaa...a : 対象の LD セット

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55526: RESETUPPF : LD\_SET=<aaa...a>,  
status=failed(code=<bbbbbbbb>),  
Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の LD セット（名称：aaa...a）のプラットフォームの再設定が失敗したことを示します。

aaa...a : 対象の LD セット

bbbbbbbb : 詳細コード

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55527: RESETUPPF : All LD\_SET, status=good, Disk Array=<aaa...a>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：aaa...a）の LD セットに対する一括プラットフォームの再設定が成功したことを示します。

aaa...a : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55528: RESETUPPF : All LD\_SET, status=failed(code=<aaaaaaaa>), Disk Array=<bbb...b>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の LD セットに対する一括プラットフォームの再設定に失敗したことを示します。

aaaaaaaa : 詳細コード

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55529: ADDLDSETPORTAL : LD\_SET=<aaa...a>, PORT\_NAME=<bbb...b>, PORT\_NUMBER=<cc>h-<cc>h, status=good, Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）に対してポート（名称：bbb...b、番号：cch-cch）を追加したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : ポート名

cc-cc : ポート番号

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55530: ADDLDSETPORTAL : LD\_SET=<aaa...a>,  
 PORT\_NAME=<bbb...b>,  
 PORT\_NUMBER=<cc>h-<cc>h,  
 status=failed(code=<ddddddddd>),  
 Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）に対してポート（名称：bbb...b、番号：cch－cch）の追加に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
 bbb...b : ポート名  
 cc-cc : ポート番号  
 dddddddd : 詳細コード  
 eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55531: DELLDSETPORTAL : LD\_SET=<aaa...a>,  
 PORT\_NAME=<bbb...b>,  
 PORT\_NUMBER=<cc>h-<cc>h, status=good,  
 Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）からポート（名称：bbb...b、番号：cch－cch）を削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
 bbb...b : ポート名  
 cc-cc : ポート番号  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。



## **iSM55532: DELLDSETPORTAL : LD\_SET=<aaa...a>, PORT\_NAME=<bbb...b>, PORT\_NUMBER=<cc>h-<cc>h, status=failed(code=<ddddddddd>), Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）からのポート（名称：bbb...b、番号：cch－cch）の削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : ポート名  
cc-cc : ポート番号  
ddddddddd : 詳細コード  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## **iSM55533: ADDLDSETPORTAL : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=good, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）に対してポートを一括追加したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## **iSM55534: ADDLDSETPORTAL : LD\_SET=<aaa...a>, All, status=failed(code=<bbbbbbbbb>), Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）に対してポートの一括追加に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbbbbbbbb : 詳細コード  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## **iSM55535: ADDLDSETINITIATOR : LD\_SET=<aaa...a>, INITIATOR\_NAME=<bbb...b>, status=good, Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）に対してイニシエータ（名称：bbb...b）を追加したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : イニシエータ名

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## **iSM55536: ADDLDSETINITIATOR : LD\_SET=<aaa...a>, INITIATOR\_NAME=<bbb...b>, status=failed(code=<cccccccc>), Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）に対してイニシエータ（名称：bbb...b）の追加に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : イニシエータ名

cccccccc : 詳細コード

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## **iSM55537: DELLDSETINITIATOR : LD\_SET=<aaa...a>, INITIATOR\_NAME=<bbb...b>, status=good, Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）からイニシエータ（名称：bbb...b）を削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名

bbb...b : イニシエータ名

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55538: DELLDSETINITIATOR : LD\_SET=<aaa...a>,  
INITIATOR\_NAME=<bbb...b>,  
status=failed(code=<cccccccc>),  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）からのイニシエータ（名称：bbb...b）の削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : イニシエータ名  
cccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55539: DELLDSETINITIATOR : LD\_SET=<aaa...a>,  
All, status=good, Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）からイニシエータを一括削除したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55540: DELLDSETINITIATOR : LD\_SET=<aaa...a>,  
All, status=failed(code=<bbbbbbbbb>),  
Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）の iSCSI の LD セット（名称：aaa...a）からのイニシエータの一括削除に失敗したことを示します。

aaa...a : LD セット名  
bbbbbbbbb : 詳細コード  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55600: DEFCSG : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,  
 MAX=<ccc>, MIN=<ddd>,  
 status=good, Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）にキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）を割り当て容量（上限値:ccc,下限値:ddd）で作成したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
 bbb...b : キャッシュセグメント名称  
 ccc : 割り当て容量の上限値  
 ddd : 割り当て容量の下限値  
 eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55601: DEFCSG : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>, MAX=<ccc>,  
 MIN=<ddd>, status=failed(code=<eeeeeeee>),  
 Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）にキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）を割り当て容量（上限値:ccc,下限値:ddd）の作成に失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
 bbb...b : キャッシュセグメント名称  
 ccc : 割り当て容量の上限値  
 ddd : 割り当て容量の下限値  
 eeeeeeee : 詳細コード  
 fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55602: DELCSG : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h, SEGMENT\_NAME=<bbb...b>, status=good, Disk Array=<ccc...c>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）を削除したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## iSM55603: DELCSG : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h, SEGMENT\_NAME=<bbb...b>, status=failed(code=<cccccccc>), Disk Array=<ddd...d>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）の削除に失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
cccccccc : 詳細コード  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## iSM55604: CHGCSG : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h, SEGMENT\_NAME=<bbb...b>, MAX=<ccc>, MIN=<ddd>, status=good, Disk Array=<eee...e>

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）の容量内容を上限値:ccc,下限値:ddd に変更したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
ccc : 変更後の上限値  
ddd : 変更後の下限値  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55605: CHGCSG : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,  
 MAX=<ccc>, MIN=<ddd>,  
 status=failed(code=<eeeeeeee>),  
 Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）の容量内容の変更に失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

ccc : 変更後の上限値

ddd : 変更後の下限値

eeeeeeee : 詳細コード

fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55606: CHGCSGNAME :  
 SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,  
 NEWSEGMENT\_NAME=<ccc...c>,  
 status=good, Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）の名称をキャッシュセグメント（名称:ccc...c）に変更したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

ccc...c : 変更後のキャッシュセグメント名称

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55607: CHGCSGNAME :**  
**SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,**  
**SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,**  
**NEWSEGMENT\_NAME=<ccc...c>,**  
**status=failed(code=<ddddddddd>),**  
**Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）の名称をキャッシュセグメント（名称:ccc...c）への変更し失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
ccc...c : 変更後のキャッシュセグメント名称  
ddddddddd : 詳細コード  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55608: ASSIGNCSGLD :**  
**SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,**  
**SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,**  
**LD\_NAME=<ccc...c>, LDN=<dddd>h,**  
**status=good, Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）に論理ディスク（名称:ccc...c,番号:ddddh）を割り付けたことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
ccc...c : 論理ディスク名  
dddd : 論理ディスク番号  
eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55609: ASSIGNCSGLD :**  
**SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,**  
**SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,**  
**LD\_NAME=<ccc...c>, LDN=<dddd>h,**  
**status=failed(code=<eeeeeeee>),**  
**Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称:fff...f）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）に論理ディスク（名称:ccc...c、番号:ddddh）の割り付けが失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
ccc...c : 論理ディスク名  
dddd : 論理ディスク番号  
eeeeeeee : 詳細コード  
fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55610: ASSIGNCSGLD :**  
**SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,**  
**SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,**  
**LDSET\_NAME=<ccc...c>,status=good,**  
**Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称:ddd...d）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）に LD セット（名称:ccc...c）を割り付けたことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
bbb...b : キャッシュセグメント名称  
ccc...c : LD セット名称  
ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。



**iSM55611: ASSIGNCSGLD :**  
**SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,**  
**SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,**  
**LDSET\_NAME=<ccc...c>,**  
**status=failed(code=<ddddddddd>),**  
**Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: eee...e) のキャッシュセグメント (番号:aah、名称:bbb...b) に LD セット (名称:ccc...c) の割り付けが失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

ccc...c : LD セット名称

ddddddddd : 詳細コード

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55612: FREECSGLD : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,**  
**SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,**  
**LD\_NAME=<ccc...c>, LDN=<dddd>h,**  
**status=good, Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ (名称: eee...e) のキャッシュセグメント (番号:aah、名称:bbb...b) から論理ディスク (名称:bbb...b,番号:ddddh) を解除したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

ccc...c : 論理ディスク名

dddd : 論理ディスク番号

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55613: FREECSGLD : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,  
 LD\_NAME=<ccc...c>, LDN=<dddd>h,  
 status=failed(code=<eeeeeeee>),  
 Disk Array=<fff...f>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：fff...f）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）から論理ディスク（名称：ccc...c,番号：ddddh）の解除に失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
 bbb...b : キャッシュセグメント名称  
 ccc...c : 論理ディスク名  
 dddd : 論理ディスク番号  
 eeeeeeee : 詳細コード  
 fff...f : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55614: FREECSGLD : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,  
 LDSET\_NAME=<ccc...c>, status=good,  
 Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）から LD セット（名称：ccc...c）を解除したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号  
 bbb...b : キャッシュセグメント名称  
 ccc...c : LD セット名称  
 ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55615: FREECSGLD : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>,  
 LDSET\_NAME=<ccc...c>,  
 status=failed(code=<ddddddddd>),  
 Disk Array=<eee...e>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：eee...e）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）から LD セット（名称：ccc...c）の解除に失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

ccc...c : LD セット名称

ddddddddd : 詳細コード

eee...e : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55616: FREECSGLD : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
 SEGMENT\_NAME=<bbb...b>, ALL,  
 status=good, Disk Array=<ccc...c>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ccc...c）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）から論理ディスクを一括で解除したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

ccc...c : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55617: FREECSGLD : SEGMENT\_NUMBER=<aa>h,  
SEGMENT\_NAME=<bbb...b>, ALL,  
status=failed(code=<cccccccc>),  
Disk Array=<ddd...d>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：ddd...d）のキャッシュセグメント（番号:aah、名称:bbb...b）から論理ディスクの一括解除に失敗したことを示します。

aa : キャッシュセグメント番号

bbb...b : キャッシュセグメント名称

cccccccc : 詳細コード

ddd...d : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

**iSM55618: STARTCSGCTL :  
CACHE\_PARTITIONING\_FUNCTION =ON,  
status=good, Disk Array=<aaa...a>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：aaa...a）のキャッシュ分割機能を開始したことを示します。

aaa...a : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

**iSM55619: STARTCSGCTL:  
CACHE\_PARTITIONING\_FUNCTION=ON,  
status=failed(code=<aaaaaaaa>),  
Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）のキャッシュ分割機能の開始に失敗したことを示します。

aaaaaaaa : 詳細コード

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## **iSM55620: STOPCSGCTL : CACHE\_PARTITIONING\_FUNCTION =OFF, status=good, Disk Array=<aaa...a>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：aaa...a）のキャッシュ分割機能を停止したことを示します。

aaa...a : ディスクアレイ名

[処置] 不要です。

## **iSM55621: STOPCSGCTL : CACHE\_PARTITIONING\_FUNCTION =OFF, status=failed(code=<aaaaaaaa>), Disk Array=<bbb...b>**

[種別] INFO

[説明] ディスクアレイ（名称：bbb...b）のキャッシュ分割機能の停止に失敗したことを示します。

aaaaaaaa : 詳細コード

bbb...b : ディスクアレイ名

[処置] 必要に応じて再試行してください。

## **iSM55900: Process busy when terminate emergency, unexpected error messages maybe generated**

[種別] WARNING

[説明] 構成設定プロセスが緊急停止を判断したが、直ちに終了できないことを示します。

[処置] 不要です

## **iSM56020: Function Error has occurred name=<aaa...a> code=<bbbb> errno=<cccc>**

[種別] NOTICE

[説明] 関数エラーが発生したことを示します。

aaa...a : 関数名

bbbb : 内部コード

cccc : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号

(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] 該当関数に関連する設定、Integration Base の動作環境を確認してください。

## **iSM56021: Internal Error has occurred code=<aaaa> errno=<bbbbbb>**

[種別] NOTICE

[説明] 内部エラーが発生したことを示します。

aaaa : 内部コード

bbbbbb : システムコールおよびライブラリで設定されるエラー番号

(内容は動作プラットフォーム(OS)のドキュメントを参照してください)

[処置] Integration Base 動作環境、各種設定を確認してください。

## A.2 サーバメッセージ

以下のメッセージは、Integration Base を iSM サーバに接続した場合、iSM サーバに出力されます。

02140、02141、02142、02143 のメッセージは、UNIX 版の iSM サーバでは syslog と運用ログに、Windows 版の iSM サーバでは運用ログに出力されます。

02160、02161 のメッセージは、UNIX 版の iSM サーバでは syslog に出力されます。Windows 版の iSM サーバでは出力されません。

**iSM02140: Integration Base(A) connected  
user=<aaa...a> ip=<bbb...b>  
[clid<cccccccc>]**

[種別] INFO

[説明] Integration Base が接続したことを示します。

aaa...a : 利用者名 (Integration Base 専用)

bbb...b : Integration Base の IP アドレス

cccccccc : 保守情報

[処置] 不要です (要求通りの動作)。

**iSM02141: Integration Base(A) terminated  
user=<aaa...a> ip=<bbb...b>  
[clid<cccccccc>]**

[種別] INFO

[説明] Integration Base が終了したことを示します。

aaa...a : 利用者名 (Integration Base 専用)

bbb...b : Integration Base の IP アドレス

cccccccc : 保守情報

[処置] 不要です (要求通りの動作)。

## iSM02142: Integration Base(A) disconnected user=<aaa...a> ip=<bbb...b> reason=<ccc>

[種別] NOTICE

[説明] Integration Base が切断したことを示します。

aaa...a : 利用者名 (Integration Base 専用)

bbb...b : Integration Base の IP アドレス

ccc : 切断理由

001 : Integration Base で障害発生

002 : Integration Base でタイムアウト発生

003 : その他

[処置] 必要に応じて Integration Base を再接続してください。

## iSM02143: Integration Base(A) connect failed user=<aaa...a> ip=<bbb...b> reason=<ccc>

[種別] NOTICE

[説明] Integration Base が接続に失敗したことを示します。

aaa...a : 利用者名 (Integration Base 専用)

bbb...b : Integration Base の IP アドレス

ccc : 切断理由

001 : 利用者名不正

002 : パスワード不正

003 : IP アドレス不正

004 : Integration Base 接続台数超過

005 : 資源不足

006 : Integration Base 切断処理中の再接続要求

007 : iSM サーバ終了開始

008 : 内部エラー発生

009 : その他

010 : iSM サーバでタイムアウト発生

[処置] 切断理由から問題を解決し、Integration Base を再接続してください。



## iSM02160: Data lost detected(A) ip=<aaa...a>

[種別] NOTICE

[説明] プロセス間送受信データの欠落が発生したことを示します（syslog のみに出力）。

aaa...a : Integration Base の IP アドレス

[処置] Integration Base の動作環境、iSM サーバの動作環境などデータ送受信の妨げとなる状況を取り除いてください。この場合、Integration Base からの操作要求に対する応答が欠落し、Integration Base での情報表示が完全になされていないなどの状態になる可能性があります。

## iSM02161: Data lost recovered(A) ip=<aaa...a>

[種別] NOTICE

[説明] プロセス間送受信データの欠落が解消したことを示します（syslog のみに出力）。

aaa...a : Integration Base の IP アドレス

[処置] 欠落そのものが運用に問題がないか、確認してください。iSM02160 のメッセージが出力されてから本メッセージが出力されるまでの間に、運用に支障をきたしたことを示すメッセージの出力がないかなどを確認してください。

(このページは空白です)